

令和3年度前半を振り返って

副会長 高津 乙郎

まだまだ新型コロナウイルス感染が予断を許さない状況ではありますが、陸上競技関係 者の皆様には、お元気でお過ごしのことと推察いたします。

さて、千葉陸上競技協会は宇野裕会長、木内俊秀専務理事の体制で3期目を迎えました。 役員、理事はじめ関係者の皆様には、日頃より本協会の活動に対しまして絶大なるご理解、 ご協力いただいておりますこと感謝申し上げます。

昨年度から新型コロナウイルス感染拡大が続き、大会開催に大きな影響がありました。 昨年は、鹿児島国体、全国高等学校陸上競技対校選手権大会、全日本中学校陸上競技選 手権大会の中止を始め、関東、千葉県、各市町村の大会も中止、延期が相次ぎ、各郡市 協会ではご苦労の1年になったこととお察し申し上げます。特に、中高とも3年生にとり ましては、代替大会が実施されたとはいえ泣くに泣けない1年となりました。



このコロナ感染が令和3年度に入りましても収まらず、千葉県におきましては「まん延防止等重点措置」そして「緊急事態宣言」が発せられました。1年遅れの「2020東京オリンピック・パラリンピック」は無観客の開催となりましたが、日本選手の活躍で感動の大会となりました。千葉県出身選手では、戸邉直人選手が走高跳で49年ぶりの五輪ファイナリストとなり13位、また千葉県ゆかりの選手では、3000m障害で順天堂大学の三浦龍司選手が、予選で日本新記録の9'09"92を出し、日本人では小山隆治選手以来49年ぶりの決勝進出で堂々7位入賞しました。

コロナ禍の中でしたが、令和3年度前半は、大会、行事等、苦労しながらも順調に進んでまいりました。審判講習会は今年度も、千葉大学教育学部のご協力もあり千葉大学講堂で実施できました。また、競技運営面では4月の記録会から始まり、千葉県選手権等、無観客開催でしたが、役員・審判の皆さんのご支援、ご協力のもと、競技会の主役であります選手の皆さんの活躍で円滑に運営できましたこと、大変感謝申し上げます。残念ながら2年連続で鹿児島国体、三重国体ともにコロナ感染症拡大の影響で中止、本県でも県民体育大会が同様に中止となりました。今回国体選手として選ばれた皆さんには、その力を来年の栃木国体に向け活躍されることを願っています。

中学生、高校生はコロナ禍の中でいろいろな制限があり、思うような練習ができなかったのではないでしょうか。その中でも、福井県で行われた第74回全国高等学校陸上競技対校選手権において、チュクネレ・ジョエル優人君が男子走高跳で、また、茨城県で行われた第48回全日本中学校陸上競技選手権では男子300mで鈴木琉胤君が優勝するなど、今後に期待できる選手が多く輩出されました。これらの活躍は選手の皆さんの努力は勿論ですが、指導にあたりました顧問の先生方の指導のお陰と感謝申し上げます。

本年度も、これからシーズン後半に入り、競技もトラックからロードに移り、マラソン、駅伝の競技が中心になります。昨年度はコロナの影響で全国都道府県対抗駅伝、全国中学校駅伝大会が中止になりました。毎年駅伝大会では千葉県は好成績を収めております。今年度も全国中学校駅伝、全国高等学校駅伝、そして全国都道府県対抗駅伝での活躍を期待しております。

おわりに、関係の皆様には今後とも引き続き、本協会へのご理解、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

陸上部紹介

「千葉県立八千代高等学校陸上競技部」

千葉県立八千代高等学校陸上競技部は、「誰からも応援されるチームになること」と「高校生競技者の手本となるふるまいと競技力の獲得」という目標を掲げ日々活動しています。

2011年(平成23年)を最後にインターハイ出場から遠ざかっていましたが、今年10年ぶりに4種目(男子110mH、女子200m、7種競技、女子4×100mR)でインターハイ出場を果たすことができました。特に女子4×100mRは昭和62年以来の出場となり、当時を知るOB・OGの方から多くの激励をいただきました。

ここ数年は、南関東大会にてぎりぎりのところで敗退し、なかなかその壁を突破することができずにいました。また、昨年は新型コロナウイルス感染拡大によるインターハイ中止など運にも見放されたと思う時期もありましたが、、ようやく今年南関東大会を突破し、インターハイ出場権を獲得することができました。

10年ぶりの福井インターハイでは、入賞種目こそはなかったものの3種目で準決勝に進出し、全国でも十分通用することを実感することができ、自信にもつながりました。

今後は、毎年インターハイ出場できるような安定した力をチーム全体で目指していきたいと思います。そして千葉県を代表するチームになれるように、顧問、部員とで一丸となり努めていきたいと思っています。





「酒々井町立酒々井中学校陸上競技部」

酒々井町立酒々井中学校陸上競技部は、3年生14名、2年生22名、1年生23名の合計59名で活動しています。

部のモットーは「一生懸命」です。陸上競技に対してはもちろん、勉強、学校行事、清掃活動など何事 にも一生懸命取り組める人間に成長することを意識して日々の部活動に取り組んでいます。

昨年度はコロナ禍で例年通りの大会が開催されず、気持ちが切れてしまいそうになることもありました。 そうしたなかで、たくさんの方々のご尽力のもと日々の努力の成果を発揮できる場を用意してくださり、全 国中学生陸上競技大会2020が開催されました。本校では女子100mHで4位入賞、女子砲丸投で5位 入賞、女子4×100mR出場という結果を残すことができ、その先輩たちからのバトンを受け取った現在 の選手たちも高い志をもって活動しています。

1町1校という小さな地域でありますが、日頃からの「何事にも一生懸命取り組む姿勢」をとおして多くの方々から応援していただける選手・チームを目指してこれからも精進してまいります。



※部活動紹介コーナーに登場してくれる部活動を募集しています。我こそはと思う部活動の方は千葉陸協までご連絡ください。

第32回才山兰烂沙卢競技大会出場者(2021/東京)

男子 5000m松枝博輝(富士通)14 分 15 秒 54男子 5000m坂東悠汰(富士通)14 分 05 秒 80男子 20Km 競歩高橋英輝(富士通)1 時間 27 分 29 秒男子 4 × 400mR伊東利来也(三菱マテリアル)3 分 00 秒 76

※この他、本協会登録ではありませんが本県縁の選手として、走高跳に専修大学松戸高等学校卒業の戸邉直人選手、3000mSC に順天学大学在学中の三浦龍司選手が出場し活躍されました。



国際大会入賞者。国内大会優勝者。駅伝



全国高等学校陸上競技対校選手権 (R3.7.28 ~ 8.1 福井)

男子走高跳 チュクネレジョエル優人 2m12 ① 八千代松陰高

U-20 日本陸上競技選手権 (R3.6.24 ~ 27 大阪長居)

男子 400m吉木翼46.58①東葛飾高女子 100mH岩佐茉結子13.59①東京学芸大女子 円盤投篠崎美咲43m94①日本体育大

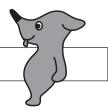
全日本中学校陸上競技選手権 (R3.8.18 ~ 20 茨城笠松)

男子 3000m 鈴木 琉胤 8.35.54 ① 小金北中

U18 U16 陸上競技大会 (R3.10.22 ~ 24 愛媛)

U18 女子 100mH 山田 裕未 13.42 ① 市立船橋高 U16 男子 100m 藤井 清雅 10.65 ① 渋谷学園幕張高 U16 女子 三段跳 土屋 美潤 11.44 ① 東庄中

船橋市陸上競技協会



船橋市陸上競技協会は、昭和30年に創設され、昭和32年には船橋市体育協会(現スポーツ協会)の正式加 盟団体として承認され現在に至っています。

昭和40年10月に船橋市運動公園陸上競技場が完成、昭和61年には2種公認全天候型トラックとなり、平 成12年に写真判定システムが導入され、多くの大会を企画運営しています。

協会開催の大会は、昭和32年より市内を1周する成人の日記念駅伝大会をはじめ、現在は春秋の市民大会、 中学記録会4回、長距離記録会を主催、共催大会として中学校総合体育大会、中学校新人大会、市民マラソン 大会(旧元旦マラソン)、小学・女子駅伝大会を開催しています。

それらの競技役員として、陸連公認審判員は、S級10名、A級17名、B級69名、合計96名の登録となっ ています。

また、強化部、小中学校専門部を中心に、ジュニアキッズ強化練習会や、U18強化練習、県民大会強化練習 会を開催し、強化事業を行っています。その成果として、県民大会では男子11回、女子8回の総合優勝。県中 学校総合体育大会では平成15年に男女総合優勝。全日本中学校選手権、ジュニアオリンピック等の全国大会で は優勝者8名を輩出しています。また、日本選手権者(男子400m、1500m、3000mSC、女子走幅跳、 三段跳)、日本記録保持者 (男子1500m、女子三段跳)、オリンピック選手2名が本市出身競技者となっています。



千葉県総合スポーツセンター

ちばアクアラインマラソン実行委員会事務局 分室内 TEL: 043-252-7311 FAX: 043-252-7314 http://www.jaaf-chiba.jp/